

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・たばこ特需のおかげで販売高が上がっているのはもちろん、客のついで買いの効果も大きく、他の商品も久しぶりに動いている。
	やや良くなっている	通信会社（役員）	販売量の動き	・デジタル放送サービスの新メニューを9月に取扱開始した効果もあり、アナログ契約からデジタル契約への切替も順調に推移している。今年度から取扱開始した電話サービスの申込件数も今月は最高値を更新した。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・前年同時期と比較して契約件数が増えている。また、予約状況も客の動きも増えている。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・急に涼しくなったが、秋を通り越しそうな雰囲気である。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・全体的に来客数は大きな変化がみられない。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・客数が伸びそうで伸びない、売上も上がりそうではないが、20～30万円の商材に低迷感がある。株価の低迷と円高による買い控え行動が中間客層にある。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・高額品の動きはここ2～3か月変化はみられないが、20～30万円の商材に低迷感がある。株価の低迷と円高による買い控え行動が中間客層にある。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・全体的に販売量が復調しておらず前年を下回っている。来客数が回復しているところでも、1人当たりの購入単価が低く、前年を上回るまでにはなっていない。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・客の買い物動向については変化がない。ポイント倍増などよりサービスの付加価値がある日に客が集中している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・朝一番の特売の時間帯、夕方の見切り処分の時間帯に客が集中する状況が一段と強くなった。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・猛暑の影響で盛夏商材中心に購買動向が高まっているが、最低限必要な商品しか買わない消費スタイルは変わらない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・3か月の客単価に変化がなく、売上高も伸び悩んでいる。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・3か月前と比較し、来客数など数値状況の改善がみられない。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・中旬過ぎまで残暑が続き客数が減少したうえに、必要なものしか購入していない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・たばこの値上げによる特需で売上は好調であるが、客単価のみが高くなっただけで来客数は3か月前と変化がない。
		コンビニ（店長）	それ以外	・たばこの値上げで駆け込み需要が発生している。しかし、たばこを大量に購入するためか、その他の商品の売れ行きが悪くなっている。
		コンビニ（店舗管理）	お客様の様子	・低単価の惣菜が好調に推移しているのに対し、高額惣菜の低迷が続いている。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数は前半暑さが続き減少したが、後半に入り秋らしさを感じられるとともに徐々に増加してきた。	
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・暑さは落ち着いてきたが、客の単価に対する意識は依然として非常に厳しい。	
	衣料品専門店（総括）	お客様の様子	・来客数が特に増加しているわけでもなく、ついで買いが見られず、目的買いの客が多い。	
家電量販店（経営者）	販売量の動き	・好調な商品はエアコン、冷蔵庫、カラーテレビなど猛暑、家電エコポイントによるものであり、そのほかの商品は相変わらず厳しい。		
家電量販店（店長）	単価の動き	・猛暑や家電エコポイント需要での販売量の増加はあったが、単価面では前年より大幅に低下している。		
家電量販店（店長）	来客数の動き	・必要な商品以外のときに来店する機会が減っている。ついで買いや衝動買いが少ない。		
乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・販売台数からすると、エコカー減税及び補助金による駆け込み需要もあり、またこれまでの受注残により、前年以上の成果が残せている。しかし、補助金廃止の発表以来受注ペースが格段に落ちているので10月以降の見通しがたたない状況である。		

自動車備品販売店（従業員）	単価の動き	・集客面は減少していないが趣向品の単価低下が大きい。また、買上点数も下がっている。	
住関連専門店（店長）	お客様の様子	・景気は悪いまま変わっておらず、どちらかに動いているとは感じない。客の動きも大きな変化はない。買上点数を上げるなどの工夫をしているが変化がみられない。	
その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	単価の動き	・ナショナルブランドの各メーカーの値下げ攻勢によって、かるうじて数量を確保している。値下げによる単価の下落は収まっていない。	
高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・前年同月比では今年最も厳しい結果となった。円高を含め国内旅行が弱く、また、地方経済は明るい兆しがみえない。	
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・9月に入っても夏日が続き来客数は好調に推移していたが、下旬の連休頃から落ち込み始めた。野菜類の値上げなどで、スーパーでは夜にタイムサービス品を購入する人が増えている。	
観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・宿泊客数は前年比増加している。宿泊単価は前年比変わらないが、消費単価が低下し売上は前年並みになっている。	
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・約半年近く前年の売上を超えている。特に宿泊が順調に増加し、宴会も回復基調にある。	
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・海外個人旅行は円高によるお得感の好影響が見込めるが、法人等の海外団体需要は逆に円高による業績悪化が悪影響を及ぼしているのではないかと思えるほど需要がない。	
通信会社（職員）	それ以外	・秋の行楽シーズンに入ったが、「安近短」の傾向が強く、以前に比べ景気が回復したという実感がない。	
通信会社（社員）	それ以外	・中小企業経営者との会話の中では、経営者の景況感悪いまま変わっていないようにとらえている方が多い。	
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・スマートフォン端末が好調であるが、携帯電話の新規購買については相変わらず消極的で、総販売数に対し1人当たりの客単価は低迷しており、全体として動きの鈍い状況が変わらず続いている。	
美容室（経営者）	販売量の動き	・6、7、8月と3か月連続で売上が前年同月を上回ったが、今月は3%程度前年同月を下回りそうである。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・希望価格が低下傾向にあり、従来のローコストといわれる価格帯より一段と低い価格帯に関心が高まってきており、受注件数が増えても利益面で厳しい状況が予想される。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・例年になく残暑の影響からか、秋物衣料の動きが今一つ悪く店頭にいつまでも夏物が残っている状況が続いた。天候の悪い日は目も当てられないほどの人通りの少なさである。
	一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	販売量の動き	・オフィス家具やOA関係の機器の動きが非常に鈍い。法人客は投資を抑えている。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・記録づくめの残暑であった。本来動くべき初秋物、秋物の動きが約2週間遅れた。売上を前年と比較すると50%を上回るかどうかである。
	百貨店（売場担当）	単価の動き	・値ごろ感のある商品しか売れていない。
	乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・エコカー補助金の終了に伴い、対象外であった車種に引き合いが出ているが、補助金と同等程度の条件提示ながら成果はまだ出していない。
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・乗用車の販売量は前年同月比約1割減少している。新車購入補助金の駆け込み需要によってこの程度の減少に留まっているのであって、実際に景気が良いかどうかは定かではない。しかし、購買意欲は確実に低下している。
	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・総売上高は前年同月比99%、宿泊人数は同102%、宿泊単価は同100%とほぼ前年の水準となった。しかし、前々年との比較ではまだ81%の水準でしかない。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊、レストラン利用客の減少、婚礼件数の大幅減少により来客数は前年を大きく下回る。

		タクシー運転手	販売量の動き	・月初めに大きなイベントがあったが売上は予想を下回った。全体的にビジネス客が少なく、夕食などは家庭で取ることが多くなったようで、繁華街に出る機会が少なくなった。
		競輪場（職員）	単価の動き	・1人当たりの購入単価が5%低下している。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・秋のシーズンで来客数の動きが出てきたが、住宅版エコポイントや住宅ローン控除などあるにもかかわらず、景気の影響が買い控えの様子がうかがえる。
悪くなっている		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・9月になって人の動きが30%程度少なくなった。このような急激な変化は経験したことがない。道路に「通り抜け禁止」の標識が立ったようである。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー補助金が9月上旬に終了してからは、新車の受注が極端に無くなった。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・開店以来の最低の売上となり赤字となった。客は小旅行などで出かける機会が多く金の使い方に変化が出てきたように感じている。ただ、低料金の居酒屋などは比較的人が入っていると聞いている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・国内経済の不調を受けて団体旅行が一段と厳しい状態である。販売高は40%低下した。
		タクシー運転手	来客数の動き	・暑さが月の後半まで続き人出は依然として少なかった。夏場に多く出費をしてしまったため節約志向が特に厳しい。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新商品の買い控えが目立っている。故障受付件数が増え、携帯端末購入が減るとい、ひとつの端末を長く使う傾向がみられる。
		テーマパーク（職員）	単価の動き	・来客数は、募集ツアーの動きが鈍いものの、一般団体、フリーの個人客、海外からの観光客は前年並みに推移している。しかし、1人当たりの消費単価は前年同月比1割前後低下している。また、観光みやげ物販売は落ち込みが激しく、1人当たりの単価が大きく落ち込んでいる。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品が比較的高めの価格帯にもかかわらず引き続き好調に推移し、受注が続伸している。
	変わらない	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量の増減はあるが、予定の受注は確保できそうである。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・工場の稼働は少し動き出してきた気配があるが、相変わらず、売上、受注量は伸びていない。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・9、10月については新製品の受注も好調であり、従来品との相乗効果で売上は伸びているが、新製品が始める11月以降はまだ予測できない状況である。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・前年と比較し公共工事の発注量が極端に少なく、受注工事が非常に少ない、あるいはゼロという状況が続いている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・受注の回復がとことところで聞かれるようになってきたが、景気は引き続き好転も悪化もしていない。
やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は確保できているものの、受注の勢いに陰りがあり変化の兆しを感じる。	
	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・現在の受注状況には大きな変化がみられない。先行きについては市況が悪すぎる。	
	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・生産の7割を欧米に輸出しており、円高の影響で主力市場からの受注が戻らない。	
	輸送業（配車担当）	取引先の様子	・ここ最近の円高とエコカー補助金の終了により、車関係で特に繊維関連、カーシート関連の貨物が減少している。	
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者、異業種の経営者からは、急に仕事が減少してきたとの声が多くなってきた。	
	新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・折込チラシの全体量が減少している。またチラシサイズも小さくなっている。	
	司法書士	取引先の様子	・個人住宅以外では不動産の動きが無く、商業・法人登記分野では取締役の辞任が多い。	

		税理士（所長）	取引先の様子	・製造業は、輸出関連の下請け、孫請けの中小零細企業に円高の影響で大手から価格引下げ要請がある。また、設備投資も計画中止や縮小が見られ、民間プラント関係の建設会社の受注も減少し、仮に受注があったとしても価格引下げ圧力がある。基本的にはデフレの雰囲気がある。
	悪く なっている	食料品製造業 （企画担当）	受注量や販売量 の動き	・ここ数か月間は販売単価が7～8%低下するなか、販売数量は103～105%程度と前年同月を上回る実績であった。しかし、直近では販売数量自体も96～98%と前年同月を下回っており、販売単価の低迷に追い討ちをかけるかのごとく消費の不振が顕在化している。
		建設業（総務担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・依然として受注価格競争が続いており、競争による入札、見積においては、採算を度外視した落札が頻発に行われている。
雇用 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	求人情報誌製作 会社（編集者）	求人数の動き	・1か月間安定して求人数が多かった。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は、前年同月比12.6%、前月比9.3%それぞれ増加している。
	変わらない	人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・依然として状況の変化はみられない。企業側も社員だけの対応、または一時的なパート採用などでカバーしているようであり、派遣需要は低迷している。
		人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・微妙に良くなっているという感じはするが、具体的に数字としては上がってこない。
		新聞社〔求人広 告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の売上は前年同月比1割減少している。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は増加傾向にあるものの、正社員求人は少なく、正社員を希望する若者の雇用環境は依然として厳しい。
		民間職業紹介機 関（経営者）	周辺企業の様子	・半導体・電子部品関連、プラスチック関連製造など一部の企業で求人の動きが出てきた。
	学校〔大学〕 （就職担当）	求人数の動き	・求人数については前年度比微増である。	
やや悪く なっている				
悪く なっている	-	-	-	